



大学スポーツの振興に関する検討会議資料

# 早稲田大学との組織的連携に関する取組み (ASICS × WASEDA)



アシックスジャパン株式会社  
トータルパートナー推進室  
山本 義広

30/5/2016



# 1. アジェンダ

- 1. 弊社が考える大学との連携のあり方
- 2. 組織的連携に関する基本協定の目的
- 3. 体育会との取組み
- 4. ライセンス商品に伴うビジネスモデルの構築
- 5. スポーツ三大要素を循環させる取組み
- 6. ASICS×WASEDAモデルからの提案



# 1 - ① : 弊社が考える大学との連携のあり方

## 【連携前】

### <教育・研究機関>

- ・教育・研究開発
- ・人材交流
- ・社会貢献活動
- ・競技力向上

GAP : 大

### <運営費・強化費が枯渇>

Key word : 大学スポーツの産業化

- 収益事業＝お金を稼ぐ
- ・レプリカビジネス
- ・体育会ビジネス
- ・商品化etc

【連携後】 大学バリュー・体育会バリュー・アシックスバリューを向上させ、他のスポンサー・ファンといった共感者を増やし、結果としてお金が循環する仕組みを作る。

### <教育・研究機関>

- ・教育・研究開発
- ・人材交流
- ・社会貢献活動
- ・競技力向上

収益 = ¥

### <運営費・強化費が枯渇>

- 収益事業＝お金を稼ぐ
- ・レプリカビジネス
- ・体育会ビジネス
- ・商品化etc

価値向上

GAP : 小



# 1 - ② : 弊社が考える大学との連携のあり方

## 1. 尾山CEOメッセージ

高い知名度と組織力のある早稲田大学とタッグを組むことで、ブランド価値向上にとどまらず、**未来に継承する新たな価値**を生み出せると確信している。早稲田大学とともに、**日本の大学スポーツのさらなる発展**とともに、大学スポーツの産業化にチャレンジしたい。一大学、一企業だけで大学スポーツの産業化は難しいかもしれないが、それにつながる種をまいていきたい（早稲田スポーツ新聞記事より抜粋）

## 2. 双方の組織図 ※双方の窓口が密に情報交換ができる組織関係

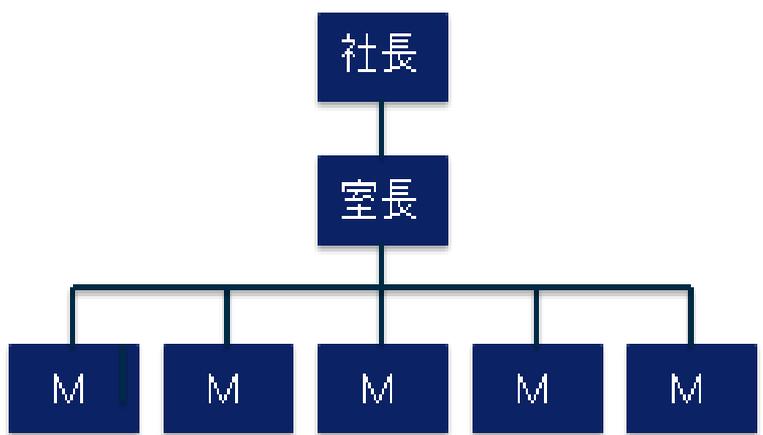
【弊社/トータルパートナー推進室新設】

【早稲田大学/競技スポーツセンター】

※大学スポーツを推進する社内組織

※体育各部を統括する組織

<アシックスジャパン組織図>





# 【本協定の目的】

早稲田大学は教育・研究機関として、当社はグローバルに活動する企業として、ともに大学スポーツの発展がスポーツ界全体に大いなる牽引を果たすことを念頭に、研究開発、スポーツを通じたグローバルな人材育成、オリンピック・パラリンピックレガシーの創出と継承、競技水準の向上、地域交流・社会貢献活動、国際交流・文化発信の促進を主とする両者間での組織的な連携を推進し、地域社会・国・産業界及び国際社会の発展に寄与していくものとする。



## 2 - ② : 組織的連携に関する基本協定の概要

### 【組織的連携に関する3つの大きな柱】

今回の連携は、研究開発、人材育成、社会貢献活動を大きな柱としています。

※大学にはソフト面・ハード面で大きな潜在力を持っている。

#### 1) 研究開発における連携

- ・スポーツ医科学、マーケティング等に関する学術研究
- ・スポーツ製品の開発
- ・体育各部の競技力向上

#### 2) 人材の交流

- ・スポーツを通じた人材育成
- ・学生のキャリア形成支援
- ・競技力向上のためのトレーニング技法および人材の開発
- ・国際交流・文化発信の推進  
(交流試合、選手・指導者派遣、留学生らとの文化交流等)

#### 3) 社会貢献活動

- ・早稲田アスリートプログラムの一環としてボランティア・社会貢献活動推進  
(震災復興支援、早稲田スポーツフェスタ、各種ボランティア等)
- ・スポーツ振興のための教育活動(寄付・提携講座の開設等)
- ・スポーツ振興のためのイベント開催(講演会、シンポジウム、スポーツ教室等)



### 3 - ① : 早稲田大学体育各部との取組み

ASICS SPIRIT

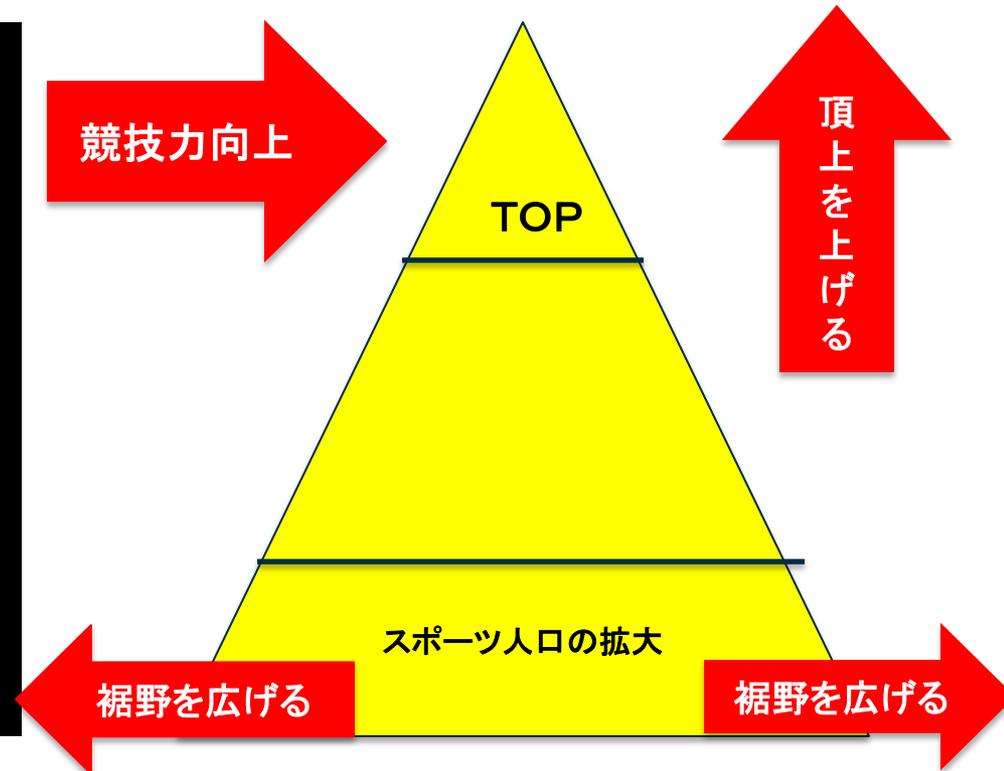
Vision: Create Quality Lifestyle through Intelligent Sport Technology  
スポーツでつちかした知的技術により、質の高いライフスタイルを創造する

Values: 1:ルールを守る 2:フェアプレーの精神に徹する 3:絶えずベストを尽くす  
4:チームの勝利のために闘う 5:能力を高めるために常に鍛錬する  
6:「ころんたら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい。」

## ① 早稲田スポーツのアイコンとなる重点強化部を頂点としたTOPチーム・選手サポートによる取組み

5つの重点強化部をアイコンとし、商品・強化支援及びISS（スポーツ工学研究所）との連携による「体力・バイオメカニクス測定」などによる競技力向上・商品開発などの支援によって大会での好成績に寄与し、連携してスポーツ人口・ファン・支援者の拡大を図る。

※ヒーローが誕生するには、競技成績は重要なポイント。ヒーローは強いことが絶対条件。





### 3 - ② : 早稲田大学体育各部との取り組み

ASICS SPIRIT

Vision: Create Quality Lifestyle through Intelligent Sport Technology  
スポーツでつちかした知的技術により、質の高いライフスタイルを創造する  
Values: 1:ルールを守る 2:フェアプレーの精神に徹する 3:絶えずベストを尽くす  
4:チームの勝利のために闘う 5:能力を高めるために常に鍛錬する  
6:「ごろんたら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい。」

## ②早稲田スポーツのアイコンとなるヒーロー・ヒロイン達

- ①競走部 ②ラグビー蹴球部 ③野球部 ④ア式蹴球部男女 ⑤庭球部男女

競技力向上により、早稲田スポーツの価値向上/アシックスブランドの価値向上  
によって、共感者拡大に向けて、取り組みます。

当社：デザインでチームを強くする  
※格好良いと強くなる

相乗効果

重点強化部：競技力向上  
※強いとデザインが格好良い



## 4-①：ライセンス商品に伴うビジネスモデル構築

ASICS SPIRIT

Vision: Create Quality Lifestyle through Intelligent Sport Technology  
スポーツでつちかした知的技術により、質の高いライフスタイルを創造する

- 1. ルールを守る
- 2. フェアプレーの精神に徹する
- 3. 絶えずベストを尽くす
- 4. チームの勝利のために闘う
- 5. 能力を高めるために常に鍛錬する
- 6. 「ころんたら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい。」

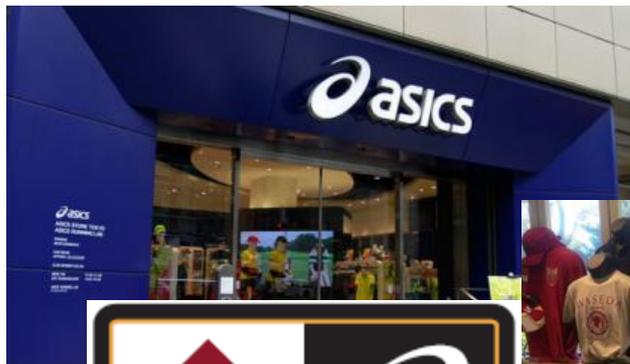
### ①早稲田大学応援グッズ（競技レプリカ・共通アイテム等）でのブランド価値向上及び売上拡大

大学・体育各部共有レプリカ・各チーム単独レプリカ・応援グッズの学内直営店・EC等での販売を行い、大学レプリカビジネス・大学スポーツ産業化へのビジネスモデル構築に向けて共同で推進していきます。

また、共通ユニフォーム・キャラクター品の製作など大学・体育各部の醸成とファン・OB・OGとの連携を強化し、双方のブランド価値向上に繋がります。

■ターゲット：早稲田大学の現役学生・保護者・OB・OG・教職員 及び ファン層

■PRメッセージ：大学スポーツの産業化を目指す ⇒ 収益を大学支援に還元！





# 4 - ② : 早稲田大学体育各部 / 校友会とのビジネス構築

ASICS SPORTS

Vision: Create Quality Lifestyle through Intelligent Sport Technology  
スポーツでつちかした知的技術により、質の高いライフスタイルを創造する

- 1: ルールを守る
- 2: フェアプレーの精神に徹する
- 3: 絶えずベストを尽くす
- 4: チームの勝利のために闘う
- 5: 能力を高めるために常に鍛錬する
- 6: 「ごらんだら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい。」

## ② 競技スポーツセンター傘下の44部 / 校友会との取り組み

1. 44部を統括している早稲田大学競技スポーツセンターと連携を図り、他のクラブへのビジネスモデル構築
2. 早稲田スポーツフェスタ・稲門祭・入学式・卒業式等での共同企画など
3. 60万人の校友会メンバー（稲門会）に対してのビジネスモデル構築

<チームオリジナル>

<早稲田スポーツフェスタ>

<稲門祭用グッズ>



**稲門祭記念品 4月8日(金) お申し込み受付開始!!**

●既成型特許取得済みの稲門祭オリジナル商品! 数に限りがありますので、あらかじめご了承ください。  
●ご購入金額2,000円につき1枚付の優待券で豪華景品が当たるチャンス!  
●記念品売上を全額門祭の収益は全額「校友会奨励金」となり、在学生を支援します!  
●直接寄付制もご利用しております。詳しくは校友会事務局まで(TEL:03-3202-8040)。

<p><b>1 特別コース</b></p> <p><b>LANVIN牛革財布</b></p> <p>高級、ホールド、コンパクトな高級レザー財布デザインの手帳型財布。並外れた品質のイタリアン、イタリアンレザー、高級革。イタリアンレザーの高級感、イタリアンレザーの高級感、イタリアンレザーの高級感。</p>	<p><b>6 特別コース</b></p> <p><b>WASEDAのタグ付きベスト</b></p> <p>ベストに「WASEDA」のタグが付けられている。4人サイズ(大人)と5人サイズ(小)があり、タグには「WASEDA」のロゴが印刷されている。タグには「WASEDA」のロゴが印刷されている。タグには「WASEDA」のロゴが印刷されている。</p>	<p><b>4 特別コース</b></p> <p><b>金タイ2016</b></p> <p>エンブレムが施された高級な金タイ。エンブレムが施された高級な金タイ。エンブレムが施された高級な金タイ。</p>
<p><b>2 特別コース</b></p> <p><b>2016稲門祭ロゴ入りライオンマグカップ(黒)</b></p> <p>黒く、使いやすい多機能マグカップ。学生生活に、思い出に残るアイテム。学生生活に、思い出に残るアイテム。学生生活に、思い出に残るアイテム。</p>	<p><b>3 特別コース</b></p> <p><b>ステンレスマグボトル(黒)</b></p> <p>保温力、保冷力に優れたステンレスマグボトル。保温力、保冷力に優れたステンレスマグボトル。保温力、保冷力に優れたステンレスマグボトル。</p>	<p><b>オリジナルトートバッグ</b></p> <p>4人サイズの大容量で使いやすいオリジナルトートバッグ。4人サイズの大容量で使いやすいオリジナルトートバッグ。4人サイズの大容量で使いやすいオリジナルトートバッグ。</p>
<p><b>3 特別コース</b></p> <p><b>校章にちなんだ19粒の紅緑切子杯</b></p> <p>校章の由来(19粒の紅緑)も、切子職人が細く彫り出した19粒の紅緑の切子杯。心づくしです。校章の由来(19粒の紅緑)も、切子職人が細く彫り出した19粒の紅緑の切子杯。心づくしです。</p>	<p><b>多機能ボールペン</b></p> <p>高級感のあるエンブレムボールペン。高級感のあるエンブレムボールペン。高級感のあるエンブレムボールペン。</p>	<p><b>稲門祭専用印袋 小銭・小物入れ</b></p> <p>高級な素材を使用した高級な印袋。高級な素材を使用した高級な印袋。高級な素材を使用した高級な印袋。</p>
<p><b>4 特別コース</b></p> <p><b>稲門祭限定MIZUNO製ゴルフボール</b></p> <p>2016年の19粒の紅緑の切子杯がモチーフ。高級な素材を使用した高級な印袋。高級な素材を使用した高級な印袋。</p>	<p><b>稲門祭限定MIZUNO製ゴルフボール</b></p> <p>2016年の19粒の紅緑の切子杯がモチーフ。高級な素材を使用した高級な印袋。高級な素材を使用した高級な印袋。</p>	<p><b>稲門祭限定MIZUNO製ゴルフボール</b></p> <p>2016年の19粒の紅緑の切子杯がモチーフ。高級な素材を使用した高級な印袋。高級な素材を使用した高級な印袋。</p>

お申し込みは、早稲田大学校友会事務局まで。お申し込みは、早稲田大学校友会事務局まで。お申し込みは、早稲田大学校友会事務局まで。



## 5. スポーツ三大要素を循環させる取り組み

ASICS SPIRIT

Vision: Create Quality Lifestyle through Intelligent Sport Technology  
スポーツでつちかした知的技術により、質の高いライフスタイルを創造する  
Values: 1:ルールを守る 2:フェアプレーの精神に徹する 3:絶えずベストを尽くす  
4:チームの勝利のために闘う 5:能力を高めるために常に鍛錬する  
6:「ころんたら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい。」

今回の弊社と早稲田大学との組織的連携の取り組みによって、文武両道の学生アスリートを育成し、次世代の社会を支えるグローバルリーダーとなるスポーツ人の育成などあらゆる側面で、未来に継承する新たな価値創造に取り組んでまいります。

### 1. 「する」

- ・ 早稲田アスリートプログラム（WAP）との連携  
震災復興支援・早稲田スポーツフェスタ・各種ボランティア活動など
- ・ 当社事業：スポーツ振興のためのスポーツ教室・イベント開催など

### 2. 「見る」

サポート強化部を中心に早稲田ファンの拡大に向けて、以下の3つの取り組みを実行

- ・ 競技力向上に貢献：商品開発・トレーニング技法などの共同開発
- ・ 活動している地域（子供からお年寄りまで巻き込んだ活動）：WAPとの連携
- ・ 応援グッズの企画開発

### 3. 「支える」

- ・ 早稲田大学ライセンス商品（応援グッズ含む）の販売による支援活動  
直営店・ECサイトで展開予定



## 6. ASICS×WASEDAモデルからの提案

今回のASICS×WASEDAとの組織的連携モデルが、大学スポーツにおける取組みの一つの模範となれるようにチャレンジしていきます。

### 【提案】

#### ① 【組織】：両者の組織に統括する部署（窓口）がある。

- ・アシックスジャパン/トータルパートナー推進室
- ・早稲田大学/総務課（大学）・競技スポーツセンター（各部）

⇒ 個別（各部）から全体（組織・大学）との取組み強化に繋がる

#### ② 【ブランド】：両者にブランドを統一する部署（窓口）がある。

- ・アシックスジャパン/トータルパートナー推進室（関係部署との連携促進）
- ・早稲田大学/広報室

⇒早稲田グッズのマナー&トーンの統一化を図ることができ、両者のブランドメッセージ・デザインの一貫性を保つことができ、その結果として早稲田ファンを結びつけることができる。

#### ③ 【イメージ】：大学スポーツ（チーム・選手）が持つ魅力の活用

⇒早稲田大学・広報・競技スポーツセンター・早稲田スポーツ新聞会との連携

#### ④ 【PR】：ソーシャルメディアを軸としたマーケティング戦略について

⇒ASICS×体育各部×早稲田スポーツ新聞と連携した一つのコミュニケーションの場となるプラットフォームを作り、ファン層を拡大する枠組みを作る。

※ブランド価値向上・支援者/ファン拡大の為には、マーケティング目線が非常に重要！

***THANK YOU!***



OPTIONAL  
“SAYONARA” TEXT